

シラバス(理科 地学基礎探究)

科目名	地学基礎探究	学年	3	使用教材	教科書	地学基礎 改訂版	啓林館
		必修の別 (必・選必・コース選)	選必		副教材	センサー地学基礎 ニューステージ新地学図表 チェック&演習地学基礎	啓林館 浜島書店 数研出版
学科	国際文科 普通科 理数科	単位数	3 2 1				

系統科目 地学基礎(3年選必・2単位)

【学習目標】

- 1 地球や宇宙の歴史的あるいは空間的な拡がりの中における自己の位置を確認させ、自己の重要性を認識させる。
- 2 数々の自然現象や物質に対して、そのものがそこにある、あるいはそのような現象が出現する過程を実験、実習作業を交え理解させる。
- 3 物事や事象に対する的確で正確な判断力を養うと同時に、地学的な考え方の修得を目指す。

【学習方法のポイント】

- 教科書に書かれている内容が基本です。授業の前にまず教科書をしっかりと読みましょう。
- 日々の授業の復習を、必ずその日のうちに行いましょう。
- 教科書や副教材の問題を活用し、さまざまな問題演習を通して理解を深めましょう。

【学習評価と観点】

- 次の4つの観点に基づき、学習内容のまとまりごとに下記の評価マトリクスにより評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。

①自然事象への 関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
②思考・判断・表現 (科学的な思考)	自然の事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
③観察・実験の 技法・表現	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
④自然事象についての 知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法／観点	
学習状況観察	① ② ③ ④ 備考
ワークシート・ファイル	誤答ノートを含む
観察・実験	観察・実験ワークシートを提出
定期考査	中間・期末(1, 2学期)

※表中の◎は観点の中でより重視するところです。

- Classi等を活用することで、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。

【定期テスト範囲(目安)】※追加・変更することもある。

			教科書(単元)	備考
学期	1学期	中間	地球の姿、火山活動	—
		期末	地震、岩石、地層	—
	2学期	中間	地球史、大気	—
		期末	海洋、地球環境、宇宙	—
	3学期	学年末	—	—

【学習サポート】

- 休み時間・昼食時間・放課後に質問を受け付けています。
- 学習方法や問題集選びなどの相談にも対応します。